

ディスカバー農山漁村の宝有識者懇談会概要

1. 日 時：平成 28 年 12 月 2 日（金）16：40～17：05
2. 場 所：総理官邸 3 階南会議室
3. 出席者：菅内閣官房長官、山本農林水産大臣、山本内閣府特命担当大臣（地方創生担当）、杉田内閣官房副長官、古谷内閣官房副長官補、新川内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、佐藤農村振興局長、林座長、今村委員、田中委員、永島委員、三國委員、向笠委員、横石委員（欠席：あん委員、織作委員、東谷委員）

4. 概 要：

○ 林座長から開会挨拶

- ・ 前回の有識者懇談会において、769 件の応募があった中から 30 地区を選定した。
- ・ 本日は、この 30 地区からグランプリ及び特別賞を決定したい。活発な意見交換をお願いしたい。

○ 山本内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から挨拶

- ・ 人口減少や少子高齢化が進んでいる中で、人口減少を克服し、地方が成長する活力を取り戻す。時代の変化に対応して地方を創生することによって、日本を再生する。こうした地方創生の取組を進めるに当たっては、地方の中核的な産業である農林水産業と農山漁村が有する潜在力を最大限に引き出すことが必要。「ディスカバー農山漁村の宝」で表彰された優良事例が情報発信され、全国に広がっていき、地域が活性化する好循環を軌道に乗せることが重要であり、その取組は、まさに「地方創生」の礎となる。本日決定されるグランプリや特別賞のみならず、本年選定された 30 地区全ては、地方創生のリーディング・モデルであり、政府一丸となってこうしたモデルを全国に普遍化させて行きたい。

○ 山本農林水産大臣から挨拶

- ・ 「ディスカバー農山漁村の宝」の応募は、毎回、回数を重ねる毎に、年々着実に増加しており、全国的な機運の高まりを実感している。本日は、優良事例 30 地区について、さらに選定を行い、グランプリと 4 つの特別賞を決定することとしたい。既に選定された 30 地区は、いずれも、理想と情熱を持って、その地域ならではの発送で農山漁村の活性化に取り組んでいる。今後このような全国に存在する優良事例を、積極的に横展開していくことを通じて、「農林水産業の成長産業化」、「美しく活力ある農山漁村」の実現を図ってまいりたい。

（佐藤農村振興局長から、資料に基づき、グランプリ及び特別賞の選定について説明。その後、委員からいただいた主な御意見は以下のとおり。）

・埋もれていた地方の宝物をうまく発掘してきたところが選ばれており、持続性や将来性のあるところが評価されている。

・日本が世界に誇れる地域の魅力が発掘できた。雇用、売り上げ、インバウンドの数値的な効果と地域の生活や魅力を発見できた。地域が理想の姿をどう発信し、何が足りないのかを各地域で意識し、サポート体制をとれば情報発信もうまくいく。地域のブランド価値を上げるには情報の力は欠かせない。価値があがれば多くの人より多くのお金を使い、地域の平均所得の向上につながる。イメージを地域の皆さんと膨らませ、みんながワクワクドキドキできる取組が広がってほしい。

・最近生産者の意識も変わってきており、個々で東京へ進出して販売していこうという意識が高まっている。個々の農家の所得を上げるということは、都会の消費者と生産者がどのように交流していくかということがものすごく大事。マスコミも必要だが、フェイストゥフェイスで実際に会える場所を多く作っていくと、商売の機会がもっと増えるのではないかな。

・北海道は、ヨーグルト、アイスクリーム、牛乳など、40代から60代が消費に伸びしろがある。文化庁の日本遺産と農山漁村もリンクさせていきたい。

・北海道には「点」として酪農が盛んなところや牧場はあるが、今回の別海町のように「面」として地域を上げて長いこと歩んできたところは希少な成功例。広大で不利な土地でも地道に励んできた地域の方々が脚光を浴びることは誠にめでたく、また、大きな激励につながる。また、高千穂町においても天孫降臨の地という立地のなか、文化遺産を軸にしながら、発酵食品も良いものを培ってきた食の宝庫でもあり、それらを複合的に活用しながら発達させたということが素晴らしい。「ディスカバー農山漁村の宝」のことを強く伝えることで、地域の方々も受賞したことを糧に益々励んでもらえるのではないかな。

・年々応募が増え、今回の顔ぶれは新鮮で良かった。「これからやっていくぞ」という取組が伸びはじめているところが受賞することで、現場には励みになるし、これから新たにやっていこうとしているところに光を当てていくのが良い。

・選定した30地域を、どう多くの人に知ってもらえるか。また、今回残念ながら選ばれなかった地域に、どう来年もう1回応募しようと思ってもらえるか。そこをエンカレッジできれば来年もさらに応募件数が増えるのではないかな。

○ 菅官房長官から挨拶

・今回の「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された事例を見ると、それぞれの地域で何とかしようという自立した動きが出てきているように感じる。有識者委員の皆さまには今年も素晴らしい事例の発掘にご尽力いただき、感謝申し上げます。

(林座長から、資料及び有識者委員の議論を踏まえ、グランプリ及び特別賞を案のとおり選定することについて提案。委員一同ご了承。)

○閉会

(以上)